

アグリ・アライアンス株式会社

脇 伸哉氏 脇 大輔氏

就農4年目

【就農のきっかけ】

伸哉氏は、中学卒業後アメリカの高校と大学を経て東京で就職したが、東日本大震災を機にUターン。代表を勤める父の農業への熱い思いを知り就農。

大輔氏は、料理人として勤め、父の作った野菜のおいしさを知った。加工品の製造開始を機に就農。シェフの経験を活かしたこだわりの加工品を製造。

【課題と解決】

落花生や白ねぎの加工品は、県の支援で派遣された専門家の助言を受け、道の駅のほか広島市内への販路を確保。商談会へ参加するなど県外への販路も開拓中。

【今後の経営方針】

白ねぎの連作障害対策で栽培を開始した落花生をレモン以外の広島県の特産品として全国に広め、白ねぎと落花生栽培を循環し農地活用につなげたい。



兄の伸哉（しんや）さん 弟の大輔（だいすけ）さん

【経営状況】

- ◆就農：令和2年2月（兄）、7月（弟）
- ◆耕作面積：10ha（白ねぎ、落花生など）
- ◆社員：10名
- ◆販路：JA、スーパーなど

就農を考えている人への一言

農業は夢が見られるし可能性が無限大に広がる職業。また、安心して食べられる野菜を提供して社会的責任を果たすことができる大切な職業。



ほ場風景



加工品の数々